

[標準様式例 7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	H29 高規格堤防整備における推進策等検討業務
業 務 概 要	本業務は、高規格堤防整備の推進にあたっての課題を整理した上で、効率的・効果的に進めていくために必要な推進策を検討するとともに、高規格堤防整備と連携したまちづくりが促進されるよう沿川の開発意欲を高める手法について検討を行うことを目的とする。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 大西 亘 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1 支出負担行為担当官 近畿地方整備局長 池田 豊人 大阪府大阪市中央区大手町1丁目5番44号
契 約 年 月 日	平成29年5月19日
契 約 業 者 名	(公財) リバーフロント研究所
契 約 業 者 の 住 所	東京都中央区新川一丁目17番24号
契 約 金 額	¥38,988,000円 (税込み)
予 定 価 格	¥39,225,600円 (税込み)
随意契約によることとした理由	<p>本業務は、高規格堤防整備の推進にあたっての課題を整理した上で、効率的・効果的に進めていくために必要な推進策を検討するとともに、高規格堤防整備と連携したまちづくりが促進されるよう沿川の開発意欲を高める手法について検討を行うことを目的とする。</p> <p>本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、技術力、経験、業務に臨む体制などを含めた技術提案を求め、簡易公募型プロポーザル方式に準じた方式により選定を行った。</p> <p>公益財団法人リバーフロント研究所は、技術提案書において総合的に最も優れた提案を行った業者であり、当該業務を実施するのに適切と認められたため、上記業者と契約を行うものである。</p>
業 務 場 所	関東地方整備局
業 種 区 分	土木コンサルタント関係
履 行 期 間 (自)	平成29年5月20日
履 行 期 間 (至)	平成30年2月28日
備 考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。